

第 26 回子育て支援ワークショップ「子育てに役立つ心理学」

「子どもが学校に行きたくないと言ったとき」開催レポート

スタッフ 上田恵子



11月17日(日)第26回子育て支援ワークショップを開催し27名(含むスタッフ4名)の参加となりました。今回は子どもが「学校に行きたくない」と言ったときの対応について、子どもの状況や状態に合わせて後藤弘美先生が講義いたしました。

<第1部 登校しぶりや不登校のそれぞれの状況や状態に合った対応の仕方>

子どもはストレスが満杯になり、気力や体力がなくなり行動できなくなると“学校に行けない・行かない”という症状が出る。そのストレスには①子どもの資質と体質、②家庭の状況や家族関係、③学校生活や地域活動(塾や習い事)などが関係している。講義ではストレスの要因となる3つについてそれぞれ詳しく解説し、チェック項目を使って子どもの状況や状態がどれに当てはまるのかをみていった。そして子どもの現在の状況を理解し、その状況に合わせた対応について、ポイントを押さえながら具体例を交えて言葉のかけ方まで一つひとつ丁寧に学んでいった。

対応のコツとしては「まずは健康になろう」がキーワードで、心身の不調を整えること。また気持ちや考えを十分に聴き「気持ちは受容するが行動をどうするか」を考えることが大切という話があった。

<第2部>「こんな場合どうする？」にズバリ解答

質問は参加者にホワイトボードに書いてもらった。「学校を休んで家に居ても子どもがリラックスできていない」、「学校は嫌ではないけれど、ネットにはまってしまっていて抜け出せなくなってしまった」など、8つほど質問があがり、今実際に我が家で困っていることについて、それぞれの確なアドバイスをもらうことができた。

終了後のアンケートには、

- ・多くの症例と分かりやすい言葉でよく理解できた。
- ・前向きに考えさせられた。勇気をもらった。
- ・腹をくくって進んでいこうと思った。
- ・子どもの健康と幸せを大切に、親の想いを押し付けないようにしようと思った。
- ・改めて子どもの話を聴いてあげようと思った。

などの感想が寄せられた。